

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-206949

(43)Date of publication of application : 03.08.1999

(51)Int.Cl.

A63B 71/14

(21)Application number : 10-012472

(71)Applicant : ZETT CORP

(22)Date of filing : 26.01.1998

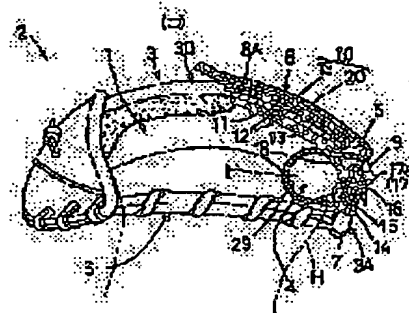
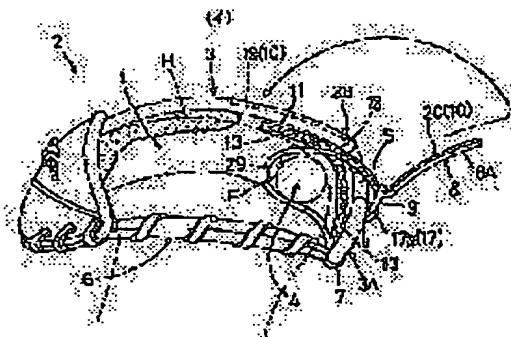
(72)Inventor : SUZUKI HIROSHI

(54) BALL-CATCHING TOOL FOR BASEBALL-SOFTBALL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a ball catching tool for baseball softball which can be easily used and can be manufactured at low cost, in which a body thereof can be easily attached to a hand or removed therefrom and a batted ball or a thrown ball can be caught without fail, while the body of the tool being attached to the hand.

SOLUTION: A cutout part 5 is formed in a rear part 3 so as to be open to a hand insertion inlet 1. A tightening band 8 is provided to tighten a thumb F inserted into a thumb insertion part 4 at least toward a ball catching part. And one of the ends of the band 8 is fixed to the interior of a body of the ball catching tool and the other end thereof is passed through a band insertion part 9 provided at a part 3A on the side of the thumb relative to the part 5 of the part 3 so as to be pulled out to the outside surface of the part 3. A part 3B on the side of a small finger relative to the part 5 of the part 3 can be engaged with a pulled out side part 8A of the band 8, and an engaging means 10 is provided so that the engaging position of the part 3B and the part 8A can be changed in the pulling direction of the band 8.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

26.01.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

2911863

[Date of registration]

09.04.1999

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-206949

(43) 公開日 平成11年(1999) 8月3日

(51) Int.Cl.⁹

A 6 3 B 71/14

識別記号

F I

A 6 3 B 71/14

F

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平10-12472

(22) 出願日 平成10年(1998) 1月26日

(71) 出願人 000108258

ゼット株式会社

大阪府大阪市天王寺区烏ヶ辻 1丁目 2番16号

(72) 発明者 鈴木 浩

大阪府大阪市天王寺区烏ヶ辻 1丁目 2番16号 ゼット株式会社内

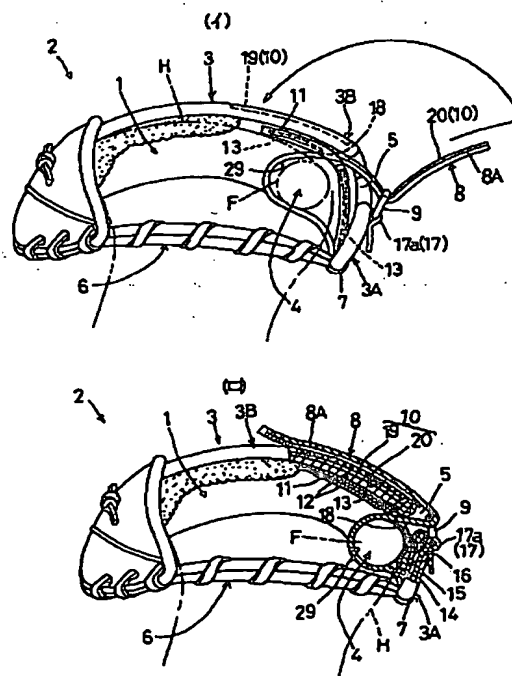
(74) 代理人 弁理士 北村 修一郎

(54) 【発明の名称】 野球・ソフトボール用捕球具

(57) 【要約】

【課題】 捕球具本体を手に対して容易に脱着することができ、しかも、捕球具本体を手に着用した状態での打球や送球の捕球の確実性を機能面で高めることができる野球・ソフトボール用捕球具を、その扱いの簡素化と製造コストの低廉化との面で有利に提供する。

【解決手段】 背面部 3 に、手挿入口 1 に向かって開口する切開部 5 を形成し、親指挿入箇所 4 に、挿入した親指 F をすくなくとも捕球面部 4 側に締め付ける締付けバンド 8 を、その一端側を捕球具本体 2 内に固着した状態で設け、他端側を、背面部 3 の切開部 5 よりも親指側の部位 3 A に設けられたバンド挿通部 9 を通して背面部 3 の外面側に導出する。背面部 3 の切開部 5 よりも小指側の部位 3 B と締付けバンド 8 の導出側部分 8 A とを係止自在で、かつ、その係止位置を締付けバンド 8 の引張り操作方向で変更自在な係止手段 10 を設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 手挿入口を備えた捕球具本体の背面部に、前記手挿入口に向かって開口する切開部を形成し、前記捕球具本体内の親指挿入箇所、挿入した親指をすくなくとも捕球面部側に締め付ける締付けバンドを、その一端側を前記捕球具本体内に固着した状態で設け、前記締付けバンドの他端側を、前記背面部の切開部よりも親指側の部位に設けられたバンド挿通部を通して前記背面部の外面側に導出するとともに、前記背面部の切開部よりも小指側の部位と前記締付けバンドの導出側部分とを係止自在で、かつ、その係止位置を前記締付けバンドの引張り操作方向で変更自在な係止手段を設けてある野球・ソフトボール用捕球具。

【請求項2】 前記切開部が前記背面部の親指挿入箇所に形成されている請求項1記載の野球・ソフトボール用捕球具。

【請求項3】 前記背面部の内面側に、前記切開部を覆う柔軟性を備えたパッド部材が設けられている請求項1又は2記載の野球・ソフトボール用捕球具。

【請求項4】 前記パッド部材が、前記背面部の切開部よりも親指側の部位及び前記背面部の切開部よりも小指側の部位のうちのすくなくとも一方に対して相対移動自在に設けられている請求項3記載の野球・ソフトボール用捕球具。

【請求項5】 前記パッド部材が、前記手挿入口の周縁よりも外方に突出する状態で設けられている請求項3又は4記載の野球・ソフトボール用捕球具。

【請求項6】 前記切開部が前記背面部の親指挿入箇所に形成され、前記バンド挿通部が、前記背面部の手挿入部分の親指側外面に設けられた環状又はほぼ環状の金具から構成されているとともに、前記締付けバンドの他端側が、前記パッド部材に形成されたスリットと前記背面部の切開部と前記金具とを通して、前記背面部の外面側に導出されている請求項3、4又は5記載の野球・ソフトボール用捕球具。

【請求項7】 前記係止手段が、前記背面部の切開部よりも小指側の部位と前記締付けバンドの導出側部分との相対向面に設けられた雌雄一対の面ファスナーから構成されている請求項1～6のいずれか1項に記載の野球・ソフトボール用捕球具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、グローブ及びミットと称される野球・ソフトボール用捕球具に関する。

【0002】

【従来の技術】 この種の野球・ソフトボール用捕球具としては、従来、

① 手挿入口を備えた捕球具本体の背面部のうち、前記手挿入口を通して捕球具本体内に挿入された手の甲相当箇所に、手挿入口に向かって開口する切開部を形成し、

前記背面部の切開部よりも親指側の部位の外面に、切開部を横断して小指側の部位に延びる締付けバンドの一端側を縫着固定するとともに、前記背面部の切開部よりも小指側の部位の外面と締付けバンドの他端側部分との相対向面に、これら両者を係止自在で、かつ、その係止位置を前記締付けバンドの引張り操作方向で変更自在な雌雄一対の面ファスナーを設ける（例えば、実開昭51-147562号公報参照）。

② 手挿入口を備えた捕球具本体内の親指挿入箇所に、当該部位に挿入された親指を捕球面部側に締め付ける締付けバンドを、その一端側を捕球具本体内に固着し、前記締付けバンドの他端側を、背面部に形成されたバンド挿通スリットを通して背面部の外面側に導出するとともに、この背面部の外面と締付けバンドの導出側部分との相対向面に、これら両者を係止自在で、かつ、その係止位置を締付けバンドの引張り操作方向で変更自在な雌雄一対の面ファスナーを設ける（例えば、実開昭60-17774号公報参照）。

上記①、②に記載したものが提案されている。

【0003】そして、前記①の場合、前記面ファスナーを係止解除した状態では、前記切開部の開口幅が最大開口幅となるまで前記手挿入口を開き操作することができるから、捕球具本体を手に対して容易に脱着することができる利点があるとともに、捕球具本体を手に着した状態では、切開部の開口幅を狭めながら、前記締付けバンドを背面部の小指側に引っ張り、その位置で、締付けバンドの他端側部分を背面部の切開部よりも小指側の部位の外面に前記面ファスナーを介して係止すると、捕球具本体の手挿入口側が手に締め付けられ、その結果、手からの捕球具本体の抜き移動が規制されるから、強い打球を捕球した時の該打球の勢いで、捕球具本体が手から抜け落ちることを抑制することができる利点がある。

【0004】また、前記②の場合、捕球具本体を手に着した状態では、前記締付けバンドの導出側部分を引っ張ると、締付けバンドのうちの捕球具本体内の親指挿入箇所に位置する部分が、挿入した親指を捕球面部側に締め付け、その状態のまま締付けバンドの導出側部分を背面部の外面に前記面ファスナーを介して係止すると、前記締付け状態が維持され、前記挿入した親指と捕球面部との間に遊びが無くなり、打球や送球を捕球する時の親指の動きを、捕球具本体の親指相当箇所に瞬時に伝達することができ、その結果、捕球具本体の親指相当箇所の捕球動作の遅れを回避することができるから、このような捕球動作の遅れに起因するボールの捕球ミスを抑制することができる利点がある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来の野球・ソフトボール用捕球具のうち、前記①の場合、前記②のように、挿入した親指を捕球面部側に締め付けることができないため、親指と親指挿入箇所の捕球面部側

との間に遊びがあり、この遊びが捕球具本体の親指相当箇所の捕球動作の遅れを招来して、ボールの捕球ミスを犯し易い問題がある。また、前記②の場合、前記①のように、捕球具本体の手挿入口側を手に締め付けることができないため、捕球具本体の手挿入口の開口広さは、捕球具本体を手に対して容易に脱着することができる大きさに構成してあり、その結果、手に対して捕球具本体が簡単に抜き出し移動するため、強い打球を捕球した時の該打球の勢いで、捕球具本体が手から抜け落ち易い問題がある。

【0006】そこで、1つの捕球具本体に、前記①の構成と前記②の構成とを共に採用することにより、前記両者の利点を生かしながらも、互いの問題点を解決することが考えられるが、この場合、捕球具本体の手挿入口側を手に締め付ける操作と、挿入した親指を捕球面部側に締め付ける操作とを各別に行わなければならない、それらの操作が煩雑化して扱いが面倒となるとともに、捕球具本体に、締付けバンドと面ファスナーとをそれぞれ2つずつ設けなければならない、部材点数及び製造工程の増加により製造コストの高騰化を招来する問題があり、未だ改良の余地があった。

【0007】本発明は、上述の実情に鑑みてなされたものであって、その主たる課題は、捕球具本体の手挿入口側の手に対する締付け構造と、挿入した親指の捕球面部に対する締付け構造とを合理的に工夫することにより、捕球具本体を手に対して容易に脱着することができ、しかも、捕球具本体を手に装着した状態での打球や送球の捕球の確実性を機能面で高めることができる野球・ソフトボール用捕球具を、その扱いの簡素化と製造コストの低廉化との面で有利に提供する点にある。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するための本発明の請求項1記載の野球・ソフトボール用捕球具の特徴構成は、手挿入口を備えた捕球具本体の背面部に、前記手挿入口に向かって開口する切開部を形成し、前記捕球具本体内の親指挿入箇所に、挿入した親指をすくなくとも捕球面部側に締め付ける締付けバンドを、その一端側を前記捕球具本体内に固着した状態で設け、前記締付けバンドの他端側を、前記背面部の切開部よりも親指側の部位に設けられたバンド挿通部を通して前記背面部の外面側に導出するとともに、前記背面部の切開部よりも小指側の部位と前記締付けバンドの導出側部分とを係止自在で、かつ、その係止位置を前記締付けバンドの引張り操作方向で変更自在な係止手段を設けてある点にある。上記特徴構成によれば、前記係止手段に係止解除した状態では、締付けバンドの導出側部分が自由端となるため、前記切開部の開口幅が最大開口幅となるまで捕球具本体の手挿入口を開き操作することができるとともに、前記締付けバンドの導出側部分の一部を捕球具本体内に引き込むことにより、捕球具本体の親指挿入箇

所に対する親指の挿脱を容易に行える。また、前記捕球具本体を手に装着した状態では、切開部の開口幅を狭めながら締付けバンドの導出側部分を背面部の小指側に引っ張り、この締付けバンドの導出側部分を、その引張り状態を維持できる位置で背面部の切開部よりも小指側の部位に前記係止手段を介して係止すると、捕球具本体の手挿入口側が手に締め付けられて、手からの捕球具本体の抜き出し移動が規制されるから、強い打球を捕球した時の該打球の勢いで、捕球具本体が手から抜け落ちることを抑制することができるとともに、締付けバンドのうちの捕球具本体内の親指挿入箇所に位置する部分で、親指をすくなくとも捕球面部側に締め付けることにより、前記挿入した親指と捕球面部との間の遊びを無くすることができるから、打球や送球を捕球する時の親指の動きを、捕球具本体の親指相当箇所に瞬時に伝達することができる。それ故に、捕球具本体を手に対して容易に脱着することができ、しかも、捕球具本体を手に装着した状態での打球や送球の捕球の確実性を機能面で高めることができる。更に、前記切開部の開口幅を狭めながら締付けバンドの導出側部分を引っ張って、この導出側部分を、背面部の切開部よりも小指側の部位に係止手段を介して係止するだけで、捕球具本体の手挿入口側を手に締め付ける操作と、挿入した親指をすくなくとも捕球面部側に締め付ける操作とを同時に行うことができるから、これら操作を各別に行う場合に比して、捕球具の扱いの簡素化を図り易く、また、締付けバンド及び係止手段の数を減らして、その分だけ部材点数及び製造工程を削減することにより、製造コストの低廉化を図ることができる。

【0009】本発明の請求項2記載の野球・ソフトボール用捕球具の特徴構成は、前記切開部が前記背面部の親指挿入箇所に形成されている点にある。上記特徴構成によれば、腕を曲げて手に装着した捕球具本体を自然のまま体の前に引き寄せると、捕球具本体の親指挿入箇所の背面部側が上向きとなることに着目して、この部位に前記切開部を形成したことにより、前記切開部の開口幅を狭めながら締付けバンドの導出側部分を引っ張って、この導出側部分を、背面部の切開部よりも小指側の部位に係止手段を介して係止する操作、或いは、係止手段に係止解除する操作を、最も腕の楽な姿勢で、しかも、目視確認し易い状態で行うことができる。

【0010】本発明の請求項3記載の野球・ソフトボール用捕球具の特徴構成は、前記背面部の内面側に、前記切開部を覆う柔軟性を備えたパッド部材が設けられている点にある。上記特徴構成によれば、前記捕球具本体の手挿入口側を手に締め付けることに起因して切開部の開口縁が手に食い込むことを、前記パッド部材の柔軟性にて吸収することができるから、このような切開部の開口縁の手に対する食い込みによる圧痛や違和感を感じることがなく、その結果、捕球具本体を装着した手に受ける装着感（フィット感）を向上することができる。

【0011】本発明の請求項4記載の野球・ソフトボール用捕球具の特徴構成は、前記パッド部材が、前記背面部の切開部よりも親指側の部位及び前記背面部の切開部よりも小指側の部位のうちのすくなくとも一方に対して相対移動自在に設けられている点にある。上記特徴構成によれば、前記締付けバンドによって捕球具本体の手挿入口側を手に締め付け操作したとき、前記パッド部材が、背面部の切開部よりも親指側の部位及び前記背面部の切開部よりも小指側の部位のうちのすくなくとも一方と相対移動することができるから、締付けバンドを強く締付け操作してもパッド部材に皺寄りが発生し難く、このような皺寄りに起因するパッド部材と手との装着感（フィット感）の劣化を防止することができる。本発明の請求項5記載の野球・ソフトボール用捕球具の特徴構成は、前記パッド部材が、前記手挿入口の周縁よりも外方に突出する状態で設けられている点にある。上記特徴構成によれば、前記切開部の開口縁のみならず、捕球具本体の手挿入口の周縁のうち、背面部側の周縁の一部が手に食い込むことも、前記パッド部材の柔軟性にて吸収することができるから、捕球具本体を装着した手に受ける装着感（フィット感）を更に向上することができる。

【0012】本発明の請求項6記載の野球・ソフトボール用捕球具の特徴構成は、前記切開部が前記背面部の親指挿入箇所形成され、前記バンド挿通部が、前記背面部の手挿入部分の親指側外面に設けられた環状又はほぼ環状の金具から構成されているとともに、前記締付けバンドの他端側が、前記パッド部材に形成されたスリットと前記背面部の切開部と前記金具とを通して、前記背面部の外面側に導出されている点にある。上記特徴構成によれば、前記請求項2と同様に、前記切開部の開口幅を狭めながら締付けバンドの導出側部分を引っ張って、この導出側部分を、背面部の切開部よりも小指側の部位に係止手段を介して係止する操作、或いは、係止手段に係止解除する操作を、最も腕の楽な姿勢で、しかも、目視確認し易い状態で行えるようにすることができるものであり、しかも、前記バンド挿通部を金具から構成することにより、例えば、バンド挿通部を、背面部の手挿入部分のうちの親指側に形成したスリットから構成する場合に比して、締付けバンドの導出側部分を引張り操作する際の締付けバンドのバンド挿通部に対する滑りが良くなり、その分だけ操作抵抗を削減することができるとともに、締付けバンド及びバンド挿通部の傷みを抑制することができる。また、前記締付けバンドを切開部を介して前記金具に挿通するから、締付けバンドを金具に挿通するために、背面部の手挿入部分のうちの親指側に専用の挿通孔を形成する必要がなく、その分だけ、捕球具本体の製造工程の削減を図ることができ、製造コストの低廉化を促進することができるとともに、前記捕球具本体を手に装着した状態でのパッド部材のずれ動きを、パッド部材のスリットに通された締付けバンドにて抑制するこ

とができ、その状態での捕球具本体の安定感を向上することができる。

【0013】本発明の請求項7記載の野球・ソフトボール用捕球具の特徴構成は、前記係止手段が、前記背面部の切開部よりも小指側の部位と前記締付けバンドの導出側部分との相対向面に設けられた雌雄一對の面ファスナーから構成されている点にある。上記特徴構成によれば、例えば、前記係止手段を、前記背面部の切開部よりも小指側の部位の外面に設けられた係止ピン付きのバックルと、締付けベルトの導出側部分の複数箇所形成され、前記係止ピンが係入する係止孔とから構成する場合に比して、締付けバンドの引張り操作方向での係止位置の微調節を行うことができ、捕球具本体の装着感（フィット感）の微妙なずれを調節することができるとともに、部品コストが安価であるため、製造コストの低廉化を促進し易い。

【0014】

【発明の実施の形態】図4、図5は、本発明の野球・ソフトボール用捕球具の一例であるグローブを示し、図1、図2に示すように、手挿入口1を備えた捕球具本体2のうち、手Hに装着した状態で手の甲側となる背面部3の親指挿入箇所4に、手挿入口1に向かって開口するほぼ幅V字状の切開部5を、手Hの挿入方向（具体的には、親指Fの挿入方向）にほぼ沿う状態で形成してある。また、図1の（イ）、（ロ）に示すように、前記捕球具本体2内の親指挿入箇所4には、挿入した親指Fを、捕球具本体2のうち、手に装着した状態で掌側となる捕球面部6側と前記背面部3側とに、詳しくは皮革製の紐7で綴られた捕球面部6と背面部3との交差部分側に締め付ける皮革製の第1締付けバンド8を、その一端側を前記捕球具本体2内の捕球面部6側に縫着固定した状態で設けてあるとともに、第1締付けバンド8の他端側を、前記背面部3の切開部5よりも親指側の部位3A（以下、親指側部分3Aと称する）に設けられたバンド挿通部9を通して背面部3の外面側に導出してある。前記背面部3の切開部5よりも小指側の部位3Bと、第1締付けバンド8の導出側部分8Aとに亘っては、これら背面部3の切開部5よりも小指側の部位3B（以下、小指側部分3Bと称する）と、第1締付けバンド8の導出側部分8Aとを係止自在で、かつ、その係止位置を第1締付けバンド8の引張り操作方向で変更自在な第1係止手段10を設けてある。

【0015】図1、図2に示すように、前記背面部3の内面側には、切開部5を捕球具本体2の内側から覆う柔軟性を備えたパッド部材11を設けてあり、このパッド部材11の一部を、捕球具本体2の手挿入口1の周縁よりも外方に突出させてあるとともに、パッド部材11の突出部分11aを弧状の輪郭形状に形成してある。尚、前記パッド部材11は、縫合された2枚の皮革製のシート12間にスポンジ製のシート13を収納して構成して

ある。

【0016】前記パッド部材11を背面部3に止着するに、背面部3の親指側部分3Aに位置するパッド部材11の周縁を、捕球面部6と背面部3との間に挟み、これら3者を共に前記紐7にて共に綴ることにより背面部3に対して固定し、また、背面部3の小指側部分3Bに位置するパッド部材11の周縁は自由状態に構成することにより、前記パッド部材11を、背面部3の小指側部分3Bに対して相対移動自在に構成してある。

【0017】図1、図2に示すように、前記バンド挿通部9は、背面部3の親指側部分3Aの外側面に設けられた矩形環状のステンレス製の金具から構成してあり、この金具9は、前記背面部3の親指側部分3Aにおいて、背面部3を構成する皮革製の内皮14と外皮15との間で止着され、該外皮15に形成されたスリット16を通して背面部3の外側面に導出された第1固定帯17の先端に形成されたループ部分17aに、金具9の一方の長辺部分を挿通して揺動自在に保持してある。そして、前記第1締付けバンド8の他端側は、捕球具本体2内から、パッド部材11に形成されたスリット18と切開部5の開口と金具9の開口とを通して、背面部3の外側面に導出してある。

【0018】図1の(ロ)と図4とに示すように、前記第1係止手段10は、背面部3の小指側部分3Bと第1締付けバンド8の導出側部分8Aとの相対向面に設けられた雌雄一対の面ファスナー19、20から構成してあり、これら雌雄一対の面ファスナー19、20の各々を、それらの係止位置を第1締付けバンド8の引張り操作方向で変更自在な大きさに形成してある。詳しくは、前記背面部3の小指側部分3Bの外側のうち、切開部5の開口縁側に、多数のフック状の起毛を備えた雄型の面ファスナー19を縫着してあり、また、前記第1締付けバンド8の導出側部分8Aのうち、該導出側部分8Aを背面部3の小指側部分3Bの外側面に折り畳んだ状態でこの小指側部分3Bの外側に相対向する面に、多数のループ状の起毛を備えた雌型の面ファスナー20を縫着してある。

【0019】また、図2～図5に示すように、前記捕球具本体2内の小指挿入箇所21には、挿入した小指Cを、捕球具本体2のうち、捕球面部6側と背面部3側とに締付け、かつ、薬指側への移動を規制する皮革製の第2締付けバンド22を、その一端側を前記捕球具本体2内の捕球面部6側に縫着固定した状態で設けてあるとともに、第2締付けバンド22の他端側を、前記背面部3の小指側部分3Bに形成されたスリット23と、該小指側部分3Bの外側に第2固定帯24を介して揺動自在に保持された矩形環状のステンレス製の金具25の開口とを通して背面部3の外側面に導出してある。前記背面部3の小指側部分3Bと、第2締付けバンド22の導出側部分22Aとに亘っては、これら背面部3の小指側部

分3Bと、第2締付けバンド22の導出側部分22Aとを係止自在で、かつ、その係止位置を第2締付けバンド22の引張り操作方向で変更自在な第2係止手段26を設けてある。

【0020】図3の(イ)と図4とに示すように、前記第2係止手段26は、背面部3の小指側部分3Bと第2締付けバンド22の導出側部分22Aとの相対向面に設けられた雌雄一対の面ファスナー27、28から構成してあり、これら雌雄一対の面ファスナー27、28の各々を、それらの係止位置を第2締付けバンド22の引張り操作方向で変更自在な大きさに形成してある。詳しくは、前記背面部3の小指側部分3Bの外側に、多数のフック状の起毛を備えた雄型の面ファスナー27を縫着してあり、また、前記第2締付けバンド22の導出側部分22Aのうち、該導出側部分22Aを背面部3の小指側部分3Bの外側面に折り畳んだ状態でこの小指側部分3Bの外側に相対向する面に、多数のループ状の起毛を備えた雌型の面ファスナー28を縫着してある。

【0021】次に、当該実施形態のグローブを、手に装着するときの装着手順について説明する。図4に示すように、前記第1係止手段10を構成する雌雄一対の面ファスナー19、20同士を係止解除して、第1締付けバンド8の導出側部分8Aを自由端とし、前記切開部5の開口幅を広げながら捕球具本体2の手挿入口1を開き操作するとともに、第1締付けバンド8の導出側部分8Aの一部を捕球具本体2内に引き込み、捕球面部6と背面部3と第1締付けバンド8とにより区画形成される親指挿通孔29の開口幅を、挿入される親指Fの太さよりも大きくする。また、前記第2係止手段26を構成する雌雄一対の面ファスナー27、28同士を係止解除して、第2締付けバンド22の導出側部分8Aを自由端とし、第2締付けバンド22の導出側部分8Aの一部を捕球具本体2内に引き込み、捕球面部6と背面部3と第2締付けバンド22とにより区画形成される小指挿通孔30の開口幅を、挿入される小指Cの太さよりも大きくする。そして、親指Fを親指挿通孔29に、かつ、小指Cを小指挿通孔30に係入する状態で、前記手挿入口1を通して捕球具本体2内に手Hを挿入し、切開部5の開口幅を捕球具本体2を装着していない他方の手を用いて狭めながら、挿入された親指Fが、第1締付けバンド8のうちの捕球具本体2内の親指挿入箇所4に位置する部分にて、捕球面部6と背面部3との交差部分側に締付けられ状態にまで、前記他方の手で第1締付けバンド8の導出側部分8Aを背面部3の小指側に引っ張り、この第1締付けバンド8の導出側部分8Aを、その引張り状態を維持できる位置で背面部3の小指側部分3Bに、前記第1係止手段10を構成する雌雄一対の面ファスナー19、20を介して係止する。この状態では、前記捕球具本体2の手挿入口1側が、挿入された手Hに締め付けられて、手Hからの捕球具本体2の拔出し移動が規制され

るとともに、親指挿入箇所4に挿入された親指Fが、第1締付けバンド8のうちの捕球具本体2内の親指挿入箇所4に位置する部分にて、捕球面部6と背面部3との交差部分側に締付けられて、前記挿入した親指Fと捕球面部6との間の遊びが無くなる。従って、強い打球を捕球した時の該打球の勢いで、捕球具本体2が手から抜け落ちることを防止することができるとともに、打球や送球を捕球する時の親指Fの動きを、捕球具本体2の親指相当箇所に瞬時に伝達することができる。

【0022】更に、挿入された小指Cが、第2締付けバンド22のうちの捕球具本体2内の小指挿入箇所21に位置する部分にて、捕球面部6と背面部3とに締付けられ、かつ、薬指側への移動を規制される状態にまで、前記他方の手で第2締付けバンド22の導出側部分22Aを背面部3の親指側に引っ張り、この第2締付けバンド22の導出側部分22Aを、その引っ張り状態を維持できる位置で背面部3の小指側部分3Bに、前記第1係止手段10を構成する雌雄一対の面ファスナー27、28を介して係止する。この状態では、前記小指挿入箇所21に挿入された小指Cが、第2締付けバンド22のうちの捕球具本体2内の小指挿入箇所21に位置する部分にて、捕球面部6と背面部3とに締付けられ、かつ、薬指側への移動が規制されて、前記挿入した小指Cと捕球面部6との間の遊びが無くなる。従って、打球や送球を捕球する時の小指Cの動きも、捕球具本体2の小指相当箇所に瞬時に伝達することができる。

【0023】つまり、前記捕球具本体2内に挿入された親指Fと小指Cとの動きを、捕球具本体2に瞬時に伝達することができるから、捕球動作の遅れを抑制することができ、捕球したボールを確実に捕まえ易く、その結果、捕球したボールをハンプルする可能性を捕球具本体2の機能面から抑制することができる。

【0024】〔その他の実施形態〕

① 前記実施形態では、捕球具本体2の背面部3の親指挿入箇所4に、手挿入口1に向かって開口する切開部5を形成したが、捕球具本体2の背面部3の手の甲相当箇所に、手挿入口1に向かって開口する切開部5を、手Hの挿入方向にほぼ沿う状態で形成してもよい。この場合、前記切開部5を覆う状態で背面部3の手の甲相当箇所の内面側に柔軟性を備えたパッド部材11を設けるとともに、前記第1締付けバンド8の他端側を、前記背面部3の切開部5よりも親指側の部位に設けられたスリットと、該背面部3の切開部5よりも親指側の部位の外面に設けられた矩形環状の金具の開口を通して、前記背面部3の外面側に導出する。

② 前記切開部5の開口形状としては、ほぼ細幅V字状に限定されるものではなく、例えば、切開部5の開口形状をほぼ細幅U字状に形成してもよい。

③ 前記バンド挿通部9としては、ステンレス製の金具に限定されるものではなく、例えば、硬質の合成樹脂か

ら成形された環状部材であってもよい。

④ 前記実施形態では、前記第1係止手段10と第2第1係止手段26との各々を、雌雄一対の面ファスナーから構成したが、この構成に限定されるものではなく、例えば、前記第1係止手段10と第2第1係止手段26との各々を、係止ピン付きのバックルと、各締付けベルトの導出側部分の複数箇所に形成され、前記係止ピンが係入する係止孔とから構成する、或いは、各締付けベルトの他端側を挿通可能な環状の金具と、該金具を通して折り返された締付けベルトの導出側部分の相対向面に設けられた雌雄一対の面ファスナーとから構成してもよい。

⑤ 前記実施形態では、前記第1締付けバンド8を、親指挿入箇所4に挿入した親指Fを、捕球具本体2の捕球面部6側と背面部3側とに締め付けることができるように設けたが、前記第1締付けバンド8を、親指挿入箇所4に挿入した親指Fを、捕球具本体2の捕球面部6側のみ締め付けることができるように設けてもよい。

⑥ 前記実施形態では、野球・ソフトボール用捕球具としてグローブを例示したが、キャッチャーミットやファーストミットに、本発明の構成を適用してもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の野球・ソフトボール用捕球具の一例であるグローブを示し、(イ)は第1係止手段に係止解除した状態の捕球具本体の手挿入口側の正面図、(ロ)は第1係止手段に係止した状態の捕球具本体の手挿入口側の一部切欠正面図

【図2】捕球具本体を手に着用した状態の要部の背面図

【図3】(イ)は第2係止手段に係止解除した状態の部分断面図、(ロ)は第2係止手段に係止した状態の部分断面図

【図4】第1係止手段及び第2係止手段に係止解除した状態の捕球具本体の背面図

【図5】第1係止手段及び第2係止手段に係止した状態の捕球具本体の背面図

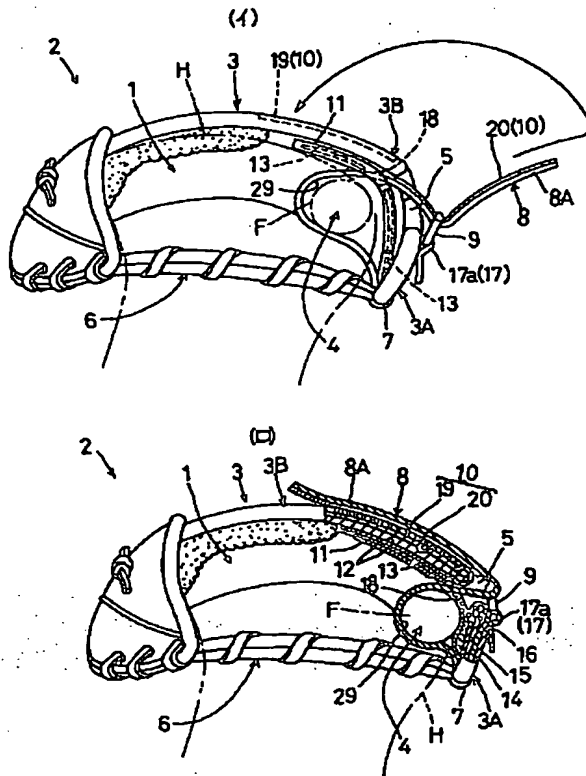
【符号の説明】

- 1 手挿入口
- 2 捕球具本体
- 3 背面部
- 3A 切開部よりも親指側の部位(親指側部分)
- 3B 切開部よりも小指側の部位(小指側部分)
- 4 親指挿入箇所
- 5 切開部
- 6 捕球面部
- 8 第1締付けバンド
- 8A 導出側部分
- 9 バンド挿通部(金具)
- 10 第1係止手段
- 11 突出部分
- 18 スリット
- 19 雄型の面ファスナー

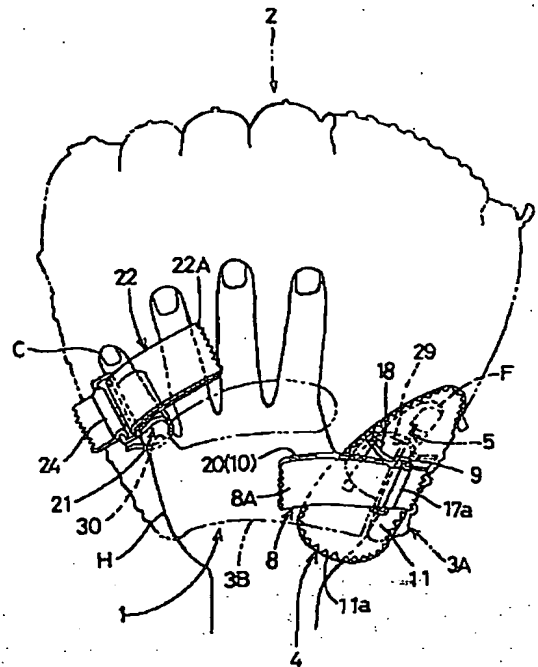
20 雌型の面ファスナー
H 手

F 親指

【図1】

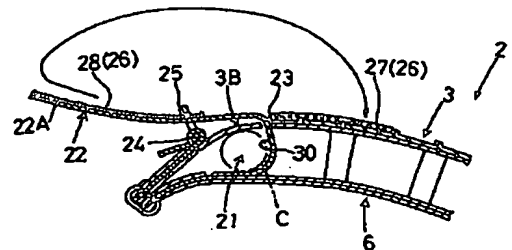


【図2】

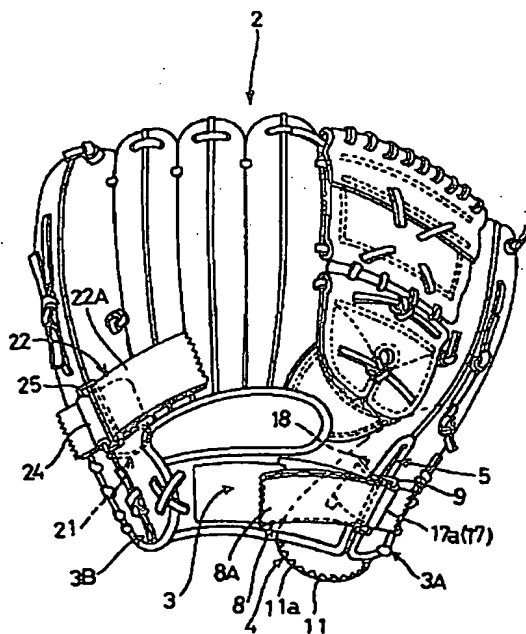


【図3】

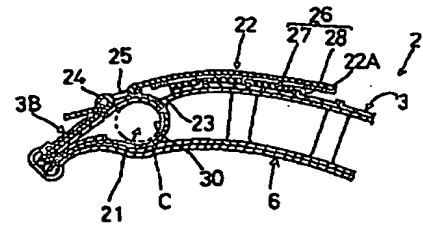
(4)



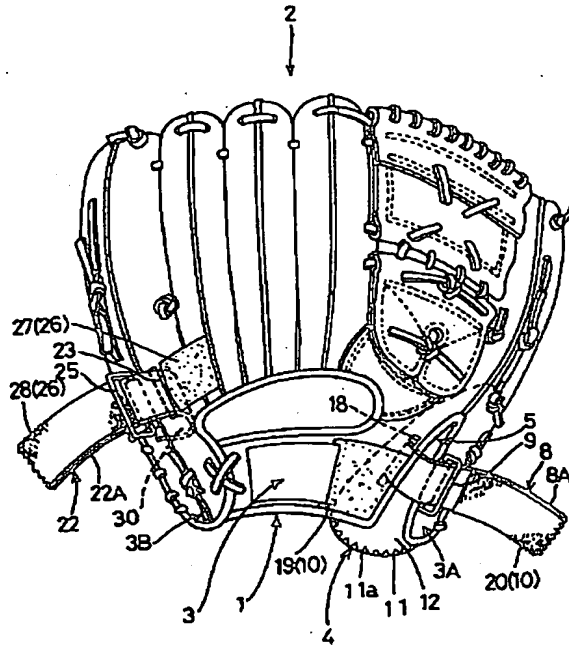
【図5】



(B)



【図4】



【手続補正書】

【提出日】平成11年1月28日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項1】 手挿入口を備えた捕球具本体の背面部に、前記手挿入口に向かって開口する切開部を形成し、前記捕球具本体内の親指挿入箇所の捕球面部側に締付けバンドの一端側を固着し、前記締付けバンドの他端側

を、前記捕球具本体内から前記背面部の切開部よりも親指側の部位に設けられたバンド挿通部を通して前記背面部の外面側に導出して、前記締付けバンドのうち、捕球具本体内の親指挿入箇所に位置する部分で、挿入した親指をすくなくとも捕球面部側に締め付けるように構成するとともに、前記背面部の切開部よりも小指側の部位と前記締付けバンドの導出側部分とを係止自在で、かつ、その係止位置を前記締付けバンドの引張り操作方向で変更自在な係止手段を設けてある野球・ソフトボール用捕球具。